

# Shirayuri

仙台白百合女子大学後援会報

No.9  
2020.3

仙台白百合女子大学後援会



## Contents

- |   |                    |   |                        |
|---|--------------------|---|------------------------|
| 2 | 学長挨拶<br>後援会会長挨拶    | 5 | 大学からの報告                |
| 3 | 部会活動報告             | 6 | 2020年度 行事予定            |
| 4 | 事業活動報告<br>課外活動支援報告 |   | 2019年度 理事名簿 など<br>編集後記 |



## 学長挨拶

仙台白百合女子大学 学長 矢口 洋生



人口減に伴い、地方大学をめぐる状況は悪化の一途です。学生は交通の便がいい都心の、大規模な、共学の総合大学に集まる傾向があります。しかし、経験上、そうである必要はないと考えます。確かに、大学院へ行きたいのなら都心部の総合大学で学ぶことは有利です。しかし学部時代は、つまり高校卒業後の大学4年間は、落ち着いた環境にある小さな私立大学でこそ学びに集中できるのです。そのことを実感したのは、私自身が渡米して地方の小規模大学で学んだ時です。回りの多くの米国人大学生たちは、大都市の大規模大学に行かざるを得ない人たちをあわれんでいたのです。危険で、ゴミゴミした大都市の大学に、どうして好んで行く必要があるのか？と真顔で質問するのです。発想の違いに驚かされました。

人間が日常的に接し、意味のある人間関係を築ける人数の平均は約150人と言われます。個人差はあっても、この数字は原始時代から現在に至るまで余り変わっていないようです。したがって大都会の3万人の大学に入学しても、3万人と真の人間関係が築けるわけではありません。かえって、意味のある人間関係ではなく、薄っぺらで拡散した人間関係しか築けない可能性があります。JR新宿駅では1日に300万人以上の人が通り過ぎます。

でも、その雑踏の中で本当に意味のある人間関係を築くことはできません。むしろ、そこにあるのは究極の孤独なのです。

人間関係を築くのに必要なのは、他者と密に接することのできる関係になって信頼感を得ることです。それが出発点であり、それが本学の強さにつながってきます。本学では、教員・職員・学生がお互いを認識できる距離感を保つことができます。その中に意味のある人間関係を発見し、それを育てていくことができます。本学の緑溢れる自然や夕焼けの眺望はそのための環境です。互いに尊重し合う大人の関係を構築できるかどうかは、社会に出て活躍するにあたって決定的に重要なことです。

落ち着いた、小規模の、国際的伝統を備えた仙台白百合女子大学で、本学に入学した学生の皆さんは、意味のある人間関係を築き、友情を育み、将来へ向けての準備をします。後援会の皆様と力を合わせて、そのような真に人を育てる環境を整えていけたらと願っています。

## 後援会会長挨拶

仙台白百合女子大学後援会 会長 佐藤 幸一



仙台白百合女子大学学生保護者の皆様におかれましては、日頃から後援会活動に対するご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。今後も、これまでと変わらぬご協力をお願いいたします。

さて昨今の国際情勢は米国とイラクの対立や英国のEU離脱に代表される混迷、国内の経済活動においては政府から打ち出された「働き方改革」やAI、IoT、ビッグデータの成長など、ビジネスシーンを取り巻く環境変化が大きく、その周期は短くなっている状況です。

しかし、これまでの知見では想像のつかない新しい時代にこそ、人間としての自主性・自律性が求められており、人間の深い理解と援助を求める仙台白百合女子大学の教育が活かされるものと思います。

私たち仙台白百合女子大学後援会は、在学生保護者・大学教職員との連携を密に一致協力した活動を通じ、学生生活の向上、更には大学発展への寄与・会員相互親睦を図ることを目的として、2011年10月に設立されました。これまでの様々な取り組みにより、新しい時代に対応する学生が成長する場を育むために活動してまいりました。

後援会は保護者と教職員が協力して次の3つの作業部会を基本的活動として展開してきました。

### (1)大学連携部会

大学の奨学金、キャリア支援、学生の課外活動の充実などを支援

### (2)事業部会

保護者向け講演会の開催、卒業記念品贈呈や「白百合祭」参加など後援会独自事業を実施

### (3)広報部会

広報誌発刊、ホームページ制作など

以上の通り、2019年度においても後援会活動を充実させることができたことは、共に活動に取り組んでいただいた各保護者理事と大学関係者のご協力の賜物です。

6月には後援会総会を予定しており、前年度の活動報告および当年度事業計画をお諮りするとともに、ランチを企画しています。また10月に予定されている『白百合祭』では、模擬店として参加するなどの活動を通じて日頃の学生の表情を垣間見る機会となりますので、ご協力をいただければ幸いです。

学生は社会への旅立ちに向けて、その翼を広げようとしているところであります。保護者の皆様におかれては、知識を学ぶ機会を設けていただくとともに、社会人へ成長する場づくりに携わる後援会の側面からも学生支援をお願いいたします。

保護者の皆様には、引き続き後援会活動へのご理解とご協力を賜りますとともに、後援会理事のお引き受けをお願いいたします。

末筆ながら、皆様のご健勝とご多幸を祈念して、ご挨拶とさせていただきます。

# 部会活動報告

## 第9回後援会総会 報告

2019年度後援会総会が2019年6月15日(土)に仙台白百合女子大学講堂において開催されました。当日は、約100名の会員の方々にご出席いただきました。

議事に先立ち佐藤後援会長と小嶋学部長の挨拶がありました。その後、神田教授が議長となり、議案の審議が行われました。議案の2018年度事業報告、収支報告、監査報告、2019年度事業計画、収支予算、理事の選出については、全て原案どおり承認されました。

ご出席いただきました会員の皆様、理事の皆様、心より御礼申し上げます。後援会の皆様におかれましては、今後とも本学の教育活動にご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。

(大学連携部会 高橋 千恵子)



## 事業部会活動報告

講演会を開催いたしました。

開催日：2019年6月15日(土)

時間：第8回講演会総会終了後11:30～12:30

場所：仙台白百合女子大学 講堂

講師：仙台白百合女子大学

グローバル・スタディーズ学科教授

槇石 多希子 氏

演題：「女性のライフコースの変化：1949～2049年」

槇石多希子氏の講演で、今まで疑問に思っていたことが、はっきりしました。これからの学生のキャリア形成についても説明がありました。大学で多くのことを学び資格取得し、卒業後も取得資格をブラッシュアップを図り、大学キャリアセンターを利用するという言葉に大変心強く親としても感謝したいと思いました。講演会終了後に保護者の皆様には、学生食堂(ステラマリス)において健康栄養学科学生の手伝いもあり、1,2年生保護者分は大学、3,4年生及び後援会理事分は後援会負担でランチを無料で提供しました。学生が普段使っている施設で食事をするのが出来て楽しいひとときを過ごしました。

(事業部会 高橋 英恵)

## 大学連携部会活動報告

大学連携部会では、学生への支援の一環として「奨学支援」「課外活動支援」「キャリア支援」を行っています。

奨学支援では、後援会から300万円を支出し、これを大学奨学金と一体運用して、今年度は経済的困難学生支援として対象者6名と、東日本大震災授業料減免支援として対象者12名への奨学支援を行いました。

勉学支援では、人間発達学科に対し保育実技に関するセミナーや小学校教員試験対策、心理福祉学科に対しては国家試験対策や学生FDサミット参加費用、健康栄養学科に対しては料理評論家服部幸慶先生の講演会や管理栄養士国家試験対策講座費、グローバル・スタディーズ学科に対しては各種資格試験検定の受験料等、各学科への支援補助を行いました。

課外活動支援では白百合祭に対する支援、キャリア支援では職業適性検査受験料やSPI講座、公務員試験講座等就職に向けた活動に対する補助を行っています。

学生が有意義で充実した学生生活を送れるように、これからも大学側と一緒に連携をとりながら支援してまいります。

(大学連携部会 安彦 恵美子)

## 広報部会活動報告

広報部会は、今年度も後援会会報「shirayuri」の発刊、ホームページの更新を中心に取組んできました。この会報は1年に1度発刊し、会員の皆様へお届けさせて頂いております。

会報「shirayuri」は、後援会の各部会の活動報告を始め、学生の皆さんからキャンパスライフの声を掲載することで、大学、学生、保護者が少しでも情報を共有し相互関係の理解が深まることを願っております。また、掲載して欲しい記事や出来事などがありましたら、ぜひ、理事会にお声がけください。今後も興味を持って頂けるような会報を目指していきたいと思っております。

会報の発刊につきましては、大学側の大きなバックアップのもとに成り立っています。今年度もご協力頂いた先生方、学生の皆さんのおかげで、スムーズに作成、発刊することができ感謝しております。

また、ホームページも随時更新しており、大学の行事や学生の様子を垣間見ることが出来ますので、是非ご覧ください。

(広報部会 今野 芳子)



# 事業活動報告

## 白百合祭に参加して

第54回白百合祭は、REBORN 生まれ変わるをテーマに10月26日(土)27日(日)に開催されました。後援会では、例年通り炒飯と飲み物の模擬店を出店しました。事業部会が主体とはなっていますが、会長さんをはじめ理事の皆様にご協力頂き、全て完売し終えることが出来ました。小中高校と違って、娘の大学に行く機会は普段は無いのですが、こういう機会に大学の校内を散策しながら、各ゼミ、部、サークル出店や展示を見学しました。普段の様子も感じる事が出来て嬉しかったです。ゲストライブは、26日は、加藤一二三先生、27日は、佐野勇斗さんのトークショーでした。学修支援センターでは、バザーがあり、中庭では、なつかしいもちまきも1日に2回あり、理事の皆様で時間の都合をつけて希望のものに参加したり、校内を見学に行きました。後援会活動に参加しながら、自分もちょっと学生気分を味わいながら楽しい時間を過ごしました。理事の皆様、諸先生方、事務の皆様のご協力があって無事に2日間を過ごすことが出来ました。皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

(事業部会 高橋 英恵)

## 白百合祭御礼

10月26日(土)、27日(日)に第54回白百合祭が開催されました。今年は、毎年恒例のもちまき・お化け屋敷をはじめ、1日目は加藤一二三先生のトークショー、2日目は佐野勇斗さんのトークショーなど、たくさんの企画をご用意させていただきました。天候が心配されましたが、大雨などにはならず、ご来場のお客様をはじめ本学学生にも楽しい時間をすごしていただけたことと思います。

私が白百合祭実行委員長として、「大学祭」という大きな行事を、仲間と共に企画・実行し、滞りなく無事に開催できましたことは、後援会、地域の皆様、企業の皆様、大学の方々等、多くの支えがあったからだと思っております。

最後になりましたが、後援会の皆様方には白百合祭開催にあたり、多大なるご支援、ご協力を賜りましたことを心より感謝申し上げます。今後とも私たち学生へご支援くださいますようよろしくお願いいたします。

(白百合祭実行委員長 佐藤 岬)



# 課外活動支援報告

## 勉学奨励金への感謝

私は、子どもたちに希望を持ち明るい未来を描いてほしいと願いを抱き、幼児期の成長に携わりたいと思い、保育者となることを夢に掲げて勉学に励んできました。保育士・幼稚園免許の取得には多くの専門科目の授業があり、後援会からの奨励金で参考書を買えました。そのおかげで、勉学に集中して取り組むことができ、保育者としての学びを深めることができました。また、保育実習や教育実習では授業で培った知識を生かしながら、現場での経験を通し、子どもとの関わりの中で保育者としての役割を学び自分のものにする事ができました。後援会からのご支援のお陰で、この度保育士として採用の内定をいただくことができました。来年度からは社会人として地域に貢献できるよう、保育士としての学びを深めつつより一層精進して参りたいと思います。後援会の皆様には心から感謝申し上げます。今後とも後輩のためにもご支援賜りますよう、よろしくお願いいたします。

(人間発達学科 佐々木 くるみ)

## 後援会補助金事業の御礼

私は、仙台白百合女子大学後援会より補助金をご支援いただき、社会福祉士国家試験対策として模擬試験を受験いたしました。

国家試験受験に向けては、参考書や問題集が沢山必要となり、それらを揃えるにも大きな負担となります。そんな中、後援会からのご支援により模擬試験の受験料を補助して頂き、負担が軽減され、複数の模擬試験を受験することができました。1回の受験だけではその後の学習成果を確かめることは難しいですが、複数の模擬試験を受けて多くの問題に触れることにより出題傾向を知ることが出来ます。また、前回の試験結果と比較し苦手科目を明らかにすることで、効率の良い試験勉強に繋がりました。さらに、毎回の模擬試験の結果から勉強に励む気持ちを継続的に維持することもできました。

このような、試験に向けた貴重な機会をご支援いただきました後援会の皆様に厚く御礼申し上げます。近年、より一層社会の様々な場面で活躍が求められる福祉専門職を目指している後輩のため今後ともご支援くださいますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

(心理福祉学科 大泉 遥)

## 国家試験対策講座のご支援について

私たちは、後援会よりご支援いただいている「国家試験対策講座」を受講しております。

3年生の後期から、定期的に国家試験対策講座を行なっていただきました。

この対策講座は、試験合格のための重要なポイントをわかりやすい板書や解説を用いて講義をしていただき、基礎的な知識を身につけることができました。特にヒトの病気やなぜその病気につながるのか、基礎知識を用いた応用的な問題も理解して勉強することができました。

また、私たちのモチベーションを上げられるような言葉をかけていただき、友人と前向きに勉強に励むことができました。

最後になりますが、このような貴重なお時間を作っていただいた後援会の皆様に深く御礼申し上げます。これからは社会人として、管理栄養士として、沢山の方々に支えられる人間になれるよう努力してまいります。

今後とも幅広く活躍でき、社会にも貢献できる管理栄養士の育成、後輩のためにご支援のほどよろしくお願いいたします。

(健康栄養学科 平井 優衣)

## 大学からの報告

### 後援会理事募集について

大学は、保護者と教職員で組織される後援会から様々な大学の活動にご支援をいただいております。

支援内容は各部会報告でご案内しておりますが、主だった活動として各学科の学習支援や国家試験対策、大学祭、キャリア支援等が挙げられます。

2019年度の活動の企画・運営にあたり新年度理事を募集しております。活動は土曜日の午前中に年4～6回程度の理事会を開催し、各部会等の活動について協議いたします。任期は2年間です。

ぜひ、理事として学生及び大学の活動にご支援いただき、ご忌憚ないご意見を頂戴したいと思います。

問い合わせ先：後援会事務局（庶務課）

TEL 022-372-3254

## 補助金事業の御礼

私は後援会よりご支援を頂いております、ANAエアラインスクールを受講致しました。幼い頃から航空業界で働くことを目標にしていた私は、学内でエアラインスクールを受講できることから、仙台白百合女子大学で学ぶことを決めました。

初めの3日間の講座では、社会人に必要な基礎力や接遇力などを学び、就職活動における面接練習やグループディスカッションなどを行いました。面接練習をする中で自己分析を行い、改めて自分を見つめ直すことができ、また、なぜ航空業界で働きたいのかが明確になりました。そして4日目と5日目には、CAやGSとして働くための専門的な知識を教えてくださいました。女性としての立ち居振る舞いや、職務上心得ておくべき細かな事まで、沢山の事を知り、航空業界で働く事にさらに強く憧れを持ち、より努力をしようと思いました。

エアラインスクールは費用がとても高額ですが、補助金を助成していただいたことで負担が軽減されました。深く御礼申し上げます。今後とも後輩の為にも、ご支援賜りますよう宜しくお願い致します。

(グローバル・スタディーズ学科 本間 千里歌)

### 学生支援について

大学連携部会「奨学支援」のご支援により、「大学奨学金」と一体運用し在学生の学業成績、学修態度がともに優れ経済的理由のための学業の継続が困難と認められる学生を支援しています。2019年度は「仙台白百合女子大学奨学金」6名「東日本大震災授業料減免」については12名支援させていただきました。

更に、大学独自として、各学科の成績優秀者に対し「学業成績奨励金」の給付しております。

今後も後援会のお力添えをいただきながら学生支援を行っていききたいと思います。

# 2020年度 行事予定

前 期	
4月 2日 (木)	入学式 (イズミティ21) 後援会入会式・保護者説明会
4月 8日 (水)	白百合ウェルカム・フェスティバル
4月 9日 (木)	前期授業開始日
6月 20日 (土)	後援会総会 1・2年生保護者会
6月 29日 (月)	修養会
8月 3日 (月)	前期授業最終日
後 期	
9月 17日 (木)	後期授業開始日
10月 23日 (金)	白百合祭準備 (休講)
10月 24日 (土)	白百合祭
10月 25日 (日)	
10月 26日 (月)	白百合祭代休
11月 14日 (土)	就職に関する保護者説明会
12月 23日 (水)	年内授業最終日
12月 24日 (木)	クリスマスミサ
1月 5日 (火)	授業再開
1月 18日 (月)	後期授業最終日
2月 25日 (木)	卒業判定結果掲示
3月 18日 (木)	卒業感謝ミサ・同窓会入会式
3月 19日 (金)	学位記授与式



## 仙台白百合女子大学後援会 2019年度 理事名簿

氏 名	担当部会
会 長 佐藤 幸 一	大学連携部会
副会長 遠藤 要 子	大学連携部会
副会長 武田 光 由	大学連携部会長
監 事 大友 由 美	広報部会副部会長
理 事 高橋 英 恵	事業部会長
理 事 安保 かおる	事業部会副部会長
理 事 佐藤 幸 也	大学連携部会
理 事 張 間 和 彦	広報部会
理 事 金 澤 晃 一	事業部会
理 事 安 彦 恵美子	大学連携部会副部会長
理 事 後 藤 昭 子	事業部会
理 事 大 地 久美子	広報部会
理 事 今 野 芳 子	広報部会長
理 事 小 山 裕 子	事業部会
理 事 小 田 中 しおり	大学連携部会
理 事 星 富美恵	広報部会
理 事 佐 藤 里 美	事業部会
理 事 高 橋 優 子	大学連携部会
理 事 廣 瀬 純	大学連携部会
理 事 渡 邊 博 子	同窓会長
理 事 矢 口 洋 生	学長
理 事 小 嶋 文 博	大学連携部会/学部長
副会長 神 田 あづさ	大学連携部会/健康栄養学科長
理 事 吉 田 弘 美	事業部会/教学委員会
理 事 芳 賀 茂	広報部会/事務局長
理 事 石 岡 宏 美	広報部会/事務局次長兼入試広報課長兼大学広報室長
理 事 高 橋 豊	事業部会/事務局次長兼図書館事務局長
理 事 佐 藤 啓 朗	事業部会/キャリアセンター長
理 事 川 村 かほる	広報部会/学生課長
理 事 高 橋 千恵子	大学連携部会/事務局次長兼庶務課長

### 編集後記

早いもので年度末を迎える3月になり、後援会報も無事に9号を発行することができました。ご協力いただいた皆様には感謝申し上げます。私が後援会に携わるようになって早いもので丸2年となりました。白百合祭にも参加して、理事の皆さんと共に楽しく過ごさせて頂きました。学生の皆さんの頑張っている様子も間近で見ることができ、とてもいい思い出になりました。保護者の皆様も、機会があれば大学へ足を運んで頂き、学生たちが楽しそうに学び、成長していく姿を見てもらえればと思います。私は次年度も理事のお手伝いをさせて頂く予定です。美味しいチャールンを作って、皆様のご来場をお待ちしております。(広報部会 大地 久美子)

## 仙台白百合女子大学 後援会ホームページ

活動内容が紹介されています。是非、ご覧ください。また、理事を募集しています。お引き受けいただける方は、後援会事務局(庶務課)までご連絡願います。

検索 仙台白百合女子大学 後援会

## 仙台白百合女子大学 寄付金のお願い

- 【目 的】 仙台白百合女子大学の教育・研究環境の整備充実のため
- 【使 途】 ① 教育・研究環境の整備  
② 奨学資金の充実
- 経済的理由のため学業継続が困難である優秀な学生への支援  
東日本大震災における被災学生の授業料減免支援  
留学生支援

ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

検索 仙台白百合女子大学寄付金の募集

## 後援会より卒業生へ 記念品贈呈

卒業生の皆さまに記念品といたしまして「ふくさ」をプレゼントいたしました。



「マリア母子像」  
設置場所：1号館3F正面玄関  
短期大学創立を祝して、フランスから取り寄せ、約40年間、旧1号館玄関に置かれていました。2007年、新1号館完成と同時に、正面に移設されました。

## 仙台白百合女子大学後援会

〒981-3107 仙台市泉区本田町6番1号  
TEL：022-372-3254  
FAX：022-375-4343  
E-mail：kouenkai@sendai-shirayuri.ac.jp